

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 土浦市

### ●地域における現状・課題

- ・少子化に伴う生徒数の減少により、部活動部員数や教職員数の減少等により、単独校での部活動維持が困難な状況となっている。
- ・部活動への参加意欲の二極化が見られ、中学生のスポーツ離れの深刻化が懸念される中、行政主導の運営団体による持続可能で段階的な移行の必要がある。
- ・休日も部活動に従事することによる教職員の負担が大きく、専門性や意思に関わらず教職員が指導するこれまでの指導体制の維持は厳しい状況となっている。

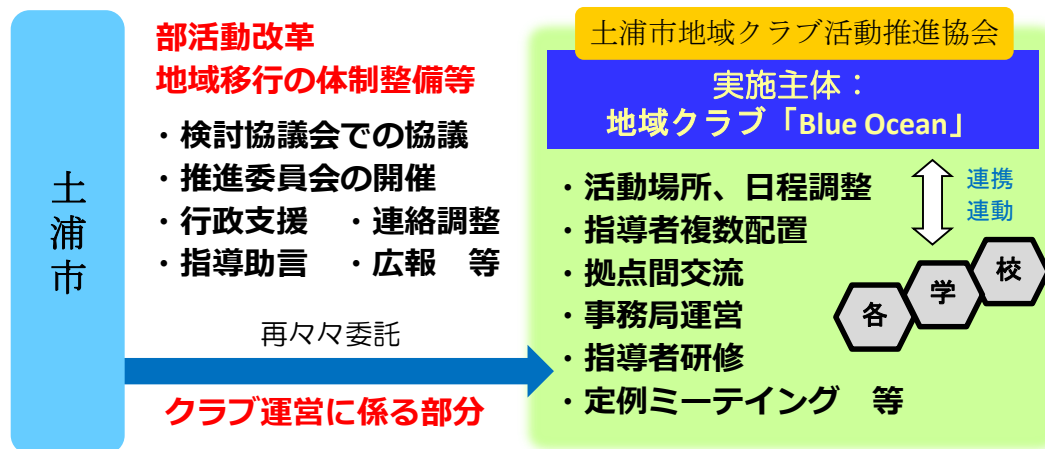
### ●取組事項の概要

- ・2校以上での拠点化によりクラブ活動の人的環境を整備し、活動内容の質的向上を図ることで、持続可能な部活動及び地域クラブ活動の仕組みを構築する。
- ・他校生との交流のほか、地域との交流を進めることで、参加生徒の人間関係形成や、長期的な視野での人材の発掘・育成、資質向上に資する。
- ・移行期間においては運営団体の人材バンク登録者から兼職兼業教職員を中心に指導員を複数名配置することにより、平日部活動との指導の連動を図り、受益者の不安及び不公平感を払拭するとともに、休日部活動の指導を希望しない教職員の負担軽減を図る。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・学校の実情を考慮した拠点構成により安定した参加者数が確保されたことで、活動内容の幅の広がりや質的向上を図ることができ、参加生徒の満足感につながった。
- ・警察やスポーツ少年団等の地域との交流活動を行ったことで、参加生徒の視野が広がり、地域クラブを支える人材育成や仕組みの構築の足がかりとなった。
- ・行政主導の運営団体が計画的に指導者を配置することで、併存する平日部活動との連携・連動が図られ、受益者の不安の軽減につながった。また、休日部活動への従事がなくなった分、教職員に土日の余裕ができ、学校の負担軽減にも寄与した。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型（任意団体設立型）
- (2) 運営主体：土浦市地域クラブ活動推進協会  
「土浦市地域クラブ Blue Ocean」
- (3) 種目：軟式野球、サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子バレーボール、女子バレーボール
- (4) 指導者の主な属性：兼職兼業の教職員・部活動指導員・部活動外部コーチ
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4回程度
- (6) 主な活動場所：市内中学校等施設
- (7) 主な移動手段：保護者送迎・自転車・徒歩
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：26,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

# 【土浦市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 1. 自治体の基本情報

## 基本情報

人口	142,181人	部活動数	123部活
公立中学校校数	8校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	3,164人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市内各校の在籍生徒や競技人口の減少等により、各校が開設している部活動の部員数が減少し、団体競技を中心に単独校での部活動維持が困難になりつつあり、部活動の削減等の必要が生じている。また、部活動活動時間の縮減策により、在籍部員や部活動顧問の活動意欲等が低迷する傾向や部活動への参加意思の二極化が見られ、保護者等が期待する部活動運営に応えられない場合が増えており、中学生のスポーツ離れが深刻化する前に早期の対策が求められていることから、拠点校化等を検討し、複数指導者の中で平準化された活動の保障が必要となってきた。

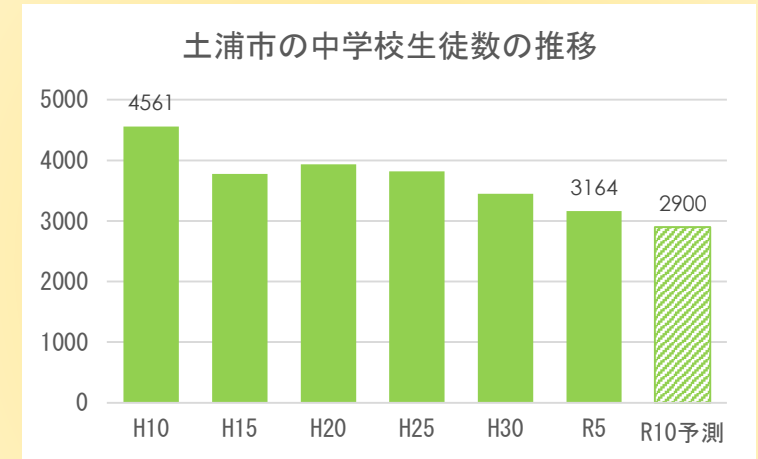
本市の部活動の現状を踏まえ、生徒主体の部活動改革を目指す一方で、地域移行の早期実現は、現段階では地域としての受け皿（人的・物的資源）が不足しており、今後もこれまでの各校による部活動運営と同等規模の環境を提供するためには、行政主導の事務局運営により、持続可能で段階的な移行へと導く必要がある。

### <単独校での部活動運営に支障が出ている部活動>

- 合同チームで活動または大会参加  
野球部、サッカー部
- ベンチ登録人数または団体戦規定人数以下  
野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、柔道部、剣道部、新体操部、吹奏楽部
- 学校外での活動と連携  
柔道部、水泳部、バドミントン部

部活動種目	18種目 ※男女別のもも1種目としてカウント
部活動数	8校123部
加入者数	2750人
加入率	87%

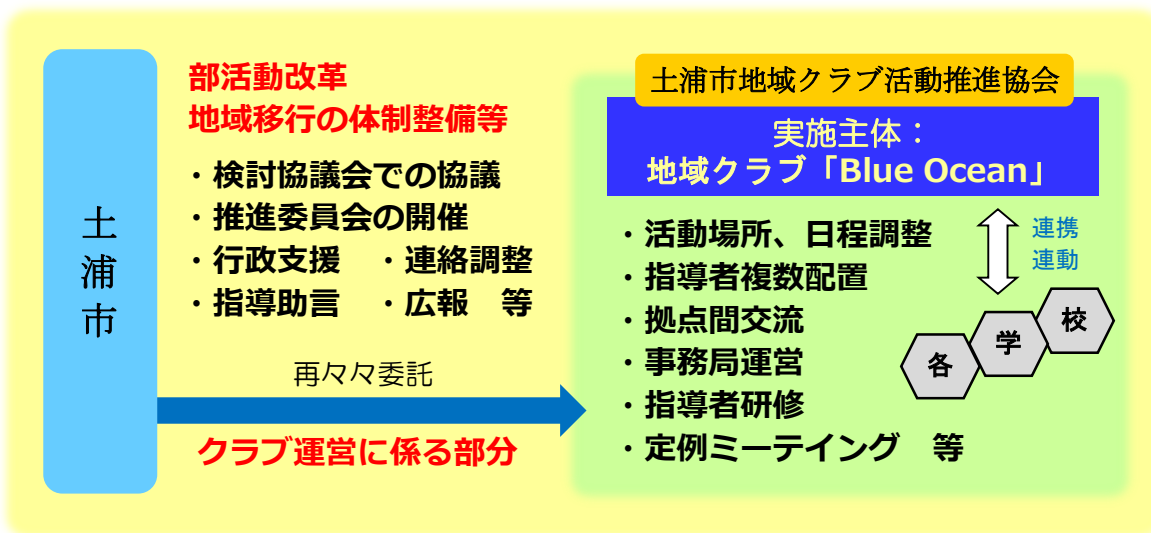
土浦市の中学校生徒数の推移



○H18年の合併によりH20は一時的に増加  
○R10には、30年前のおよそ2/3となる可能性

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割



### ▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（指導課）  
部活動指導員の配置を含む部活動数適正化に向けた取組  
部活動地域移行の制度設計、運営団体の起ち上げ  
部活動改革全般にわたる学校等とのコーディネート  
各学校・中体連との連絡調整及び関係者への広報活動
- **市長部局**（教育委員会スポーツ振興課、広報広聴課）  
地域のクラブやスポーツ協会等との連絡調整  
市体育施設の管理及び団体への貸し出し調整  
市報でのPR活動

### 年間の事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
部活動	各校運営方針改訂及び運用			軟式野球専門部 合同チーム編成			実証事業による休日の地域クラブ活動 (野球・サッカー・バスケボール・バレーボール)						
	新入生加入部員数確定						部活動数の点検・評価（合同部活動・拠点校部活動の検討）						
実証事業	スポーツ庁「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」委託期間												
				事務局設置・運営準備			実証事業による4種目先行実施 (野球・サッカー・バスケボール・バレーボール)						活動継続
				学校・生徒・保護者周知									
検討協議会				協議会設置	部活動改革検討協議会								
					部活動改革プロジェクト推進委員会								

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	8校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	軟式野球, サッカー, 男子バスケットボール, 女子バスケットボール, 男子バレーボール, 女子バレーボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	43部活		

### 主な取組例 ※注1

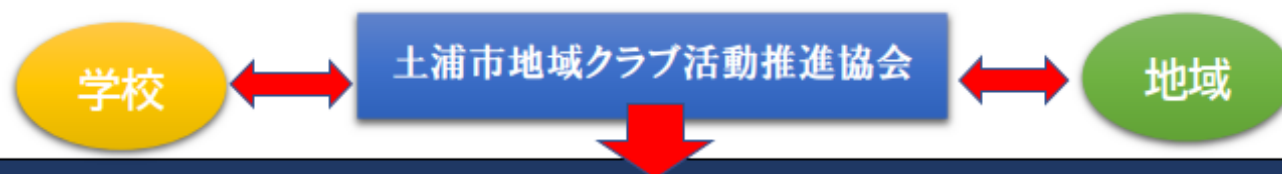
#### ▼活動概要

拠点校名	土浦第一中学校	土浦第二中学校	土浦第四中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	5部活	6部活	6部活
地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、男子バスケットボール 女子バスケットボール、女子バレーボール	軟式野球、サッカー、男子バスケットボール 女子バスケットボール、男子バレーボール 女子バレーボール	軟式野球、サッカー、男子バスケットボール 女子バスケットボール、男子バレーボール 女子バレーボール
運営主体名	土浦市地域クラブ活動推進協会「土浦市地域クラブ Blue Ocean」		
運営類型 ※注2	市区町村運営型（任意団体設立型）		
1か月あたりの平均的な活動回数	月4回程度		
指導者の主な属性	兼職兼業の教職員・部活動指導員・部活動外部コーチ		
活動場所	市内中学校等施設		
主な移動手段	徒歩または自転車、保護者送迎		
1人あたりの参加会費等（年額） ※注3	26,000円		
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険	生徒1人あたり：800円/年	指導者1人あたり：1,850円/年

## 2. 実証内容と成果

### 主な取組例 ※注1

#### ▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



市教委コーディネーターが運営団体・学校・地域との連絡調整を行いながら地域クラブ運営をサポート。

土浦市地域クラブ「Blue Ocean」											
軟式野球		サッカー		バスケットボール〈男子〉		バスケットボール〈女子〉		バレーボール〈男子〉		バレーボール〈女子〉	
拠点	4	拠点	3	拠点	4	拠点	3	拠点	3	拠点	4
会員	67名	会員	130名	会員	120名	会員	72名	会員	72名	会員	99名
指導者	14名(2名)	指導者	14名(1名)	指導者	14名(5名)	指導者	9名(5名)	指導者	9名(2名)	指導者	13名(2名)
Epics 東		Nexus 北		Epics 東		Nexus 北		Nexus 北		Epics 東	
地区	二中・五中	地区	二中・五中・都和中・新治	地区	二中・五中	地区	二中・五中・都和中・新治	地区	五中・都和中・新治	地区	二中・五中
主会場	五中グランド	主会場	都和中グランド	主会場	二中体育館	主会場	二中体育館	主会場	五中体育館	主会場	五中体育館
Courage 中		Courage 中		Courage 中		Courage 中		Courage 中		Courage 中	
地区	一中・四中	地区	一中・四中	地区	一中・四中	地区	一中・四中	地区	一中・二中・四中	地区	一中・四中
主会場	四中グランド	主会場	一中グランド	主会場	四中体育館	主会場	一中体育館	主会場	四中体育館	主会場	一中体育館
Wish 西		Spirits 南		Wish 西		Spirits 南		Spirits 南		Wish 西	
地区	都和中・新治	地区	三中・六中	地区	都和中・新治	地区	三中・六中	地区	三中・六中	地区	都和中・新治
主会場	新治義教グランド	主会場	三中グランド	主会場	新治義教体育館	主会場	三中体育館	主会場	三中体育館	主会場	都和中体育館
Spirits 南		Spirits 南		Spirits 南		Spirits 南		Spirits 南		Spirits 南	
地区	三中・六中	地区	三中・六中	地区	三中・六中	地区	三中・六中	地区	三中・六中	地区	三中・六中
主会場	六中グランド	主会場	六中体育館	主会場	六中体育館	主会場	六中体育館	主会場	六中体育館	主会場	六中体育館

市内全8校を対象に、隣接する学校を基本として複数の拠点に分け編成。  
※拠点となる学校を主会場とする。

指導者は兼職兼業を希望する教員、部活動指導員が中心。他の指導者を含め、各拠点に複数名を配置。

各拠点指導員から複数名配置。不足時にはフリーの指導員を配置。

学校にない種目も拠点に割り振り、多様なニーズへの対応も想定。

○ 指導者の人数の( )内の人数は、拠点配置をしていないフリーの指導員の人数です。(拠点配置指導者数には含まず)

○ 各拠点のチーム名は、以下のような意味を含めています。

\*北(North)=Nexus(ネクサス)／「絆」 \*東(East)=Epics(エピックス)／「素晴らしい」 \*西(West)=Wish(ウィッシュ)／「希望・願い」

\*南(South)=Spirits(スピリッツ)／「魂」 \*中央(Center)=Courage(カレイジ)／「勇気」

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

- 部活動改革検討協議会  
部活動の段階的な地域移行や合理的で効率的な部活動の推進等、部活動及び地域クラブの在り方について検討する。
- 部活動改革プロジェクト推進委員会  
持続可能な部活動及び地域クラブ運営の実現に向けた具体的方策について検討する。

#### 取組の成果

部活動改革検討協議会（年6回開催）では、地域移行を含む部活動改革に向けた方針の検討や決定を行ってきた。市教育委員会の各課や中体連、スポーツ協会との連携や役割分担等の確認の場ともなり、事業推進に寄与した。一方で、中体連主催大会の枠組みへの対応や地域クラブ活動における市所管のスポーツ施設や文化施設の利用に向けた調整などの課題も浮き彫りとなった。

部活動改革プロジェクト推進委員会（年4回開催）では、先行実施競技の中体連専門部からの意見も反映した地域クラブ拠点の枠組みを作成することができた。また、学校の実情にも配慮した計画により実践を進められたためスムーズな地域移行に貢献することができた。しかし、競技・種目により生徒数や顧問の先生方の専門性等に差があるため、地域移行や地域クラブでの指導に係る意識に温度差が見られた。

土浦市部活動改革検討協議会	
会長	(土浦市教委教育長)
副会長	(土浦市教委教育部長)
検討委員	(土浦市立学校長会中学校部長)
検討委員	(土浦市中学校体育連盟会長)
検討委員	(土浦市中学校体育連盟副会長)
検討委員	(土浦市スポーツ協合理事長)
検討委員	(土浦市PTA連絡協議会会長) *
検討委員	(土浦市部活動指導員代表) *
検討委員	(部活動有識者) *
検討委員	(土浦市教委教育総務課長)
検討委員	(土浦市教委学務課長)
検討委員	(土浦市教委生涯学習課長)
検討委員	(土浦市教委文化振興課長)
検討委員	(土浦市教委スポーツ振興課長)
検討委員	(土浦市教委指導課長)

\*印の検討委員は、令和6年度より委嘱いたします。

#### 特に工夫した事項

組織編成において、部活動改革検討協議会の下部組織として位置付けた部活動改革プロジェクト推進委員会のメンバーに、中体連理事や地域移行先行実施競技の中体連専門委員長を入れることで、検討協議会で検討・決定された内容について、各学校・各競技の実情も加味しながら具体的方策の検討や修正を行うことができた。また、中体連専門部への情報共有もスムーズに行うことができた。

部活動改革プロジェクト推進委員会			
委員長	(土浦市中学校体育連盟会長)	推進委員	(土浦市中学校体育連盟専門委員長代表)
副委員長	(土浦市校長会中学校部会代表)	推進委員	(土浦市中学校体育連盟専門委員長代表)
副委員長	(土浦市教育委員会指導課長)	推進委員	(土浦市中学校体育連盟専門委員長代表)
推進委員	(土浦市中学校体育連盟理事長)	推進委員	(土浦市中学校体育連盟専門委員長代表)
推進委員	(土浦市中学校体育連盟副理事長)	推進委員	(土浦市中学校体育連盟専門委員長代表)
推進委員	(土浦市中学校体育連盟副理事長)	推進委員	

#### 今後の課題と対応方針

実証1年目となる今年度は、新人戦終了後の10月からの実施であったため、大会等への参加については十分な実証ができなかった。2年目となる次年度は、総体や新人戦を含む大会参加における具体的な問題点を整理することが課題となる。また、中学3年生の総体後の扱いなど、通年でのクラブ運営の在り方についても検討協議会において検討していく必要がある。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保証・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

##### 取組事項

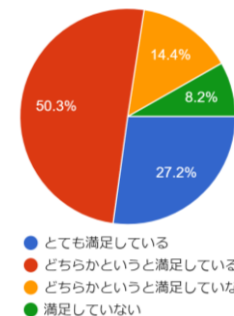
- 指導者の質的確保  
 コンプライアンス研修、指導力向上研修、事務局や部活動改革推進コーディネーターによる各拠点の巡回指導
- 指導者の量的確保  
 土浦市地域クラブ推進協会の「土浦市地域クラブ指導者バンク」に指導者登録し、登録者の中から各拠点に複数名指導員を配置

##### 取組の成果

任用時に指導者研修会を実施し、コンプライアンスや地域クラブ指導者としての心構えなどについて確認するとともに、他の研修会等への積極的な参加を促した。また、クラブ活動時には、事務局が巡回指導を行い、指導の質の向上のための評価や助言を行った。

指導者を複数名配置することで、物理的・心理的安全が図られ、生徒も保護者も安心感の持てる活動環境の提供につなげることができた。また、指導者同士が互いに協力して指導に当たることで、指導者自身の指導力の向上にもつながった。参加生徒を対象としたアンケートでは、回答者の約8割が地域クラブ活動に満足しており、うち3割程度の生徒が満足している理由として、指導者の指導内容や複数体制での安心感などをあげていた。

【参加生徒の満足度】



##### 特に工夫した事項

部活動の意義や良さを継承・発展する形で持続可能な地域クラブ活動を目指すとともに、併存する部活動と地域クラブ活動で指導者が変わる事への生徒・保護者の不安に配慮し、指導を希望する教員及び部活動指導員を中心とした兼職兼業の仕組みを構築し、部活動との連携・連動を図った。

指導者バンク登録数88名…〈内訳〉 部活動顧問教員：58名 部活動指導員：6名 部活動外部指導者等：11名  
 部活動顧問以外の教員（管理職や小学校教員）：8名 指導主事等行政職員：5名

先行実施に伴い、活動を重ねる中で生じる小さな課題について、これまでの部活動顧問としての指導や関係性を活かして対応してもらったことで、参加する生徒や保護者の移行に伴う不安感の軽減に寄与した。

##### 今後の課題と対応方針

今年度は、年度途中からの先行実施ということもあり、先行実施種目の部活動顧問や部活動指導員、外部コーチといった部活動にかかわる方々が協力的に指導を希望していただけましたが、教員の定期異動や家庭の事情により次年度以降も年間を通じて指導者を質的・量的に確保できるかについてはまだ課題が残る。兼職兼業の教職員を中心としながらも、地域人材をどのように取り込むかについて引き続き検証していく。



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保証・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

### 取組内容

#### ▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

部活動及び地域クラブ活動に対する支援の受け皿となるべき民間のスポーツクラブ・文化芸術団体に供給の限界があるため、市教育委員会が主導して運営団体を起ち上げ、独自の支援体制を構築することで安定した持続可能な地域クラブ運営を行う。市教育委員会が一体的に主導することにより、学校現場の実情や受益者となる中学生及びその保護者の思いも考慮しながら、行政側の事業推進や支援をなるべくスムーズに進められるようにする。また、公益性の高い事業とすることで、地域企業や団体からの支援も受けやすくする。

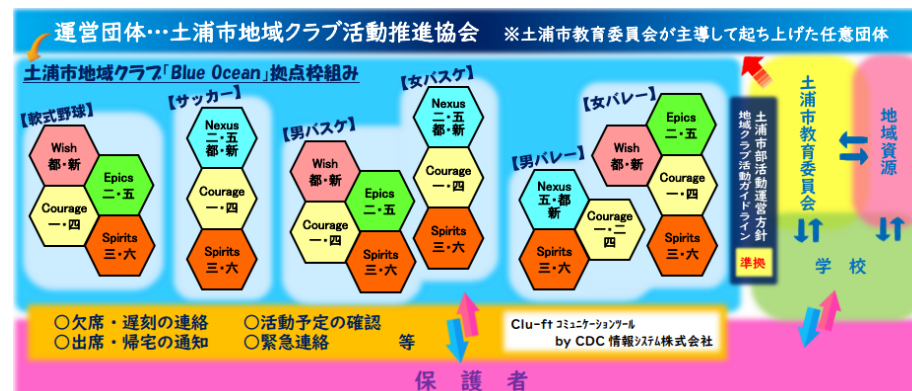
#### 取組の成果

実証事業における地域移行先行実施種目に参加する生徒及びその保護者対象の事前のアンケート調査では、自校での活動ではなくなることに對する移動手段の不安が最多であったが、次いで、部活動と休日の地域クラブ活動で指導者が変わることへの不安が多かった。また、9月に実施した地域クラブの活動開始に向けた保護者説明会の場でも、指導者に対する期待と不安の声が多く出されており、改めて学校部活動に寄せる期待が大きい地域の特性にも配慮した改革の推進が必要であることがわかった。

部活動との連携・連動を意識した地域クラブ運営とするため、兼職兼業を希望する教員や部活動指導員、外部コーチ等の部活動関係者が、各拠点の指導に携われるよう配慮して指導員を配置した。また、学校に対しても実証期間における学校部活動について、地域クラブ活動との連携・連動を意識した計画や活動の実施となるよう協力を要請した。

安定した地域クラブ運営を担うために、運営団体の事務局に事務局長1名と事務職員2名を配置した。また、事務局には本市の部活動改革推進コーディネーター等も直接運営に関わることで、事業の推進や地域クラブの運営が円滑に進むよう調整を図りながら実証に取り組むことができた。

一方で、地域の企業や団体との連携や協力の依頼については、税制面での課題や運営団体法人化の必要性などの課題も新たに見つかった。



#### 今後の課題と対応方針

部活動顧問や部活動指導員等、部活動関係者のみで指導者を確保することは難しく、事業の継続・拡大に向けては質的・量的側面からも地域指導者の活用が必須となる。持続可能な地域クラブ運営のためにも、運営団体における安定した事務局体制の構築と、行政支援や地域・学校との連携強化が求められる。事務局体制を充実させ、受益者とそこにかかわる関係者が相互に利益を感じられる事業を目指していく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：オ：内容の充実

##### 取組事項

- 部活動参加者が安心して参加できる地域クラブ運営体制の構築
  - ・部活動運営方針等に準拠した地域クラブ活動ガイドラインの作成
  - ・地域クラブ活動に係る連絡用コミュニケーションツールの開発
  - ・移動に係る負担軽減のための地域クラブ活動の弾力的な運用

##### 取組の成果

地域移行を進めるにあたり、部活動運営方針に準拠した活動となるよう『土浦市地域クラブ活動ガイドライン』を作成するとともに、部活動と連携・連動した運営になることを周知し、地域移行の先行実施に対する不安を軽減できるよう努めた。部活動との指導の連続性が期待され、対象部活動に参加する生徒546人（5月時点の調査人数）中、約9割にあたる490人が地域クラブ活動にも参加した。また、活動時間は土日のいずれか3時間程度を基本としており、参加生徒を対象としたアンケートではおよそ56.6%の生徒が活動時間について「ちょうどよい」と回答した。

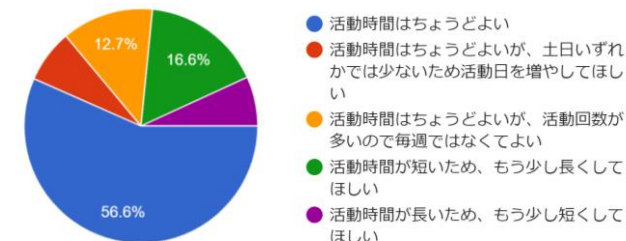
保護者が子どもを安心して参加させられるためのツールとして、情報システム会社と連携し、活動予定の確認や地域クラブ活動への参加に係る諸連絡に活用する新たな連絡用コミュニケーションツールの共同開発に取り組んだ。開発中であるため、機能の制限や操作方法等に課題が見られるため、今後も実証を重ねる必要がある。

各クラブの拠点となる会場は「主会場」として設定しており、同日同時刻に行う他の地域クラブ活動や地域移行していない部活動との調整を図りながら、各クラブに参加する生徒の在籍校を利用できる機会も意図的に組み入れ、参加生徒や送迎をする保護者の移動に係る負担軽減に配慮した。

##### 今後の課題と対応方針

実証事業における移行期間であり、平日の部活動が併存する形となるため、参加する生徒や保護者からは連絡体制や保険の加入など、部活動と重複する部分に対する問い合わせや要望が多くあった。また、部活動の実情が学校や競技・種目により差があるため、大会や練習試合の在り方を含む活動内容に対する要望への対応を検討し、安心して参加できる体制整備を進めていく。

#### <活用時間に係るアンケート結果（参加生徒対象）>



#### <連絡用コミュニケーションツール活用状況>

- クラブのメンバーやスケジュールの管理
  - ・クラブへの参加申請、招待、承認
  - ・クラブ活動予定の掲載
- クラブ活動出欠確認
  - ・出席状況の管理
  - ・出席時、帰宅時の保護者へのメール送信
- 保護者への連絡
  - ・緊急連絡先の確認
  - ・登録者へのメッセージの送付（クラブ・個別）

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

教育行政が主導した非営利的な外部組織運営により、自治体からの補助金及び賛同を得られた地域企業や団体等からの協賛金・寄付金を運営費の一部に充てられるようにすることで、低額な経費での参加を可能とし、受益者の金銭的な負担の軽減に寄与する。

##### 取組の成果

地域移行先行実施の実証期間においては、未実施種目との公平感にも配慮し、市一般財源により運営団体となる「土浦市地域クラブ活動推進協会」に補助金を交付したことで、受益者負担として想定していた年会費や活動費を免除し、追加の負担なく活動に参加できる体制を整えることができた。そういった環境下で実証する中で、持続可能なクラブ運営と参加に係る受益者負担額とのバランスについても多面的に検討することができた。

地域企業や団体からの協賛や寄付については、土浦市商工会議所や地元企業等への事業説明を行うなかで趣旨に賛同していただける方もおり、取組の方向性についてある程度の見通しを持つことができたが、その一方で、実際に協賛や寄付を受け取るためには、税制上の諸課題も複数見つかったため、運営団体の体制整備をさらに進めるとともに、税理士等、税務上の処理を適切に行うことができる人材を事業に取り入れる必要があることがわかった。

##### 特に工夫した事項

事前調査及び想定される参加人数から割り出した指導者に対する謝金相当額と参加生徒に係る保険料については、当初、受益者負担として考えたが、先行実施種目と移行していない部活動の間で負担に係る不公平感が生じることに配慮し、検討協議会及び市教育委員会との協議を重ね、市一般財源により受益者負担相当分を運営団体に補助金として交付し、運営費に充てることで間接的に受益者の金銭的な負担を軽減することとした。

##### 今後の課題と対応方針

クラブ運営を担う事務局となる団体は「任意団体」としてスタートしたため、事務局運営等における各種手続きで制限がかかる場合が多く、計画通りに進められない部分が生じている。また、事務職員を雇用しているが、みなし法人として税務上の処理をするためにはより専門的な知見が必要となり、税理士等からの助言がいただける環境を整える必要がある。運営団体の体制をより充実させるために、地域からの支援を受けやすい体制を整えるとともに、持続可能な組織運営を目指す上でも法人格を取得し、協賛や寄付の募集はもちろん、一部収益業務等も行える団体に成長させる必要がある。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：**学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

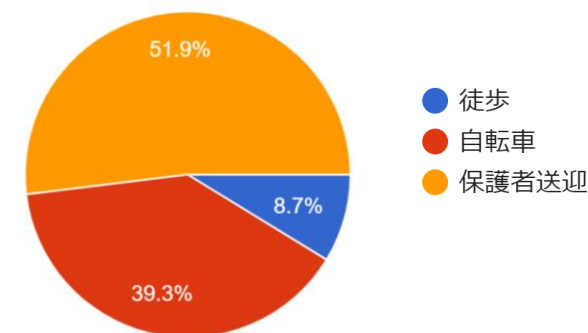
学校部活動との連携・連動を図ることで、学校施設及び用具等の一部借用を可能にするとともに、地域クラブ活動時の事故やけが等に係る保険等の整理、学区外の施設での活動に伴う不安感への対応を行い、当面の間生じる部活動と地域クラブ活動の併存状況を保持し、スムーズな地域クラブ活動への移行を進める。

##### 取組の成果

当面の間は、地域クラブ活動が部活動と同様に学校施設や用具等を利用できるよう土浦市学校長会に協力依頼した。また、活動予定を作成する際に、兼職兼業で指導に携わる教員の中から選出した学校統括リーダーと各競技・種目の拠点リーダーを中心にGoogleのスプレッドシートにて情報を共有しながら調整ができるようにした。利用可能な会場が確認できるため、個別のやりとりが必要なくなり、よりスムーズに活動予定の調整を行うことができた。現状では、施設の解錠や施錠について指導員となっている教員に頼ることが多くなっているため、施設管理や物品の使用について規則等の整備が課題である。

地域クラブ活動時の事故やけが等に係る保険については、学校管理外の活動となるため、スポーツ振興センター災害給付制度とは別のスポーツ保険に加入することで、活動時の自身のけがに対する傷害保険の他、対人・対物事故による損害賠償責任についても補償できる体制を整え、学校施設での活動における安心・安全を確保することができた。併せて、学区外での活動になる場合もあるため、自転車での移動が可能であることを学校長会を通じて各学校とも共通理解を図るとともに、万が一の事故の際にも保険の対象となることを確認し、保護者に対しても周知した。参加生徒に対するアンケートの結果では、参加生徒のおよそ半数は保護者の送迎で参加しており、約4割が自転車を主な移動手段としていた。

＜移動手段に係るアンケート結果（参加生徒対象）＞



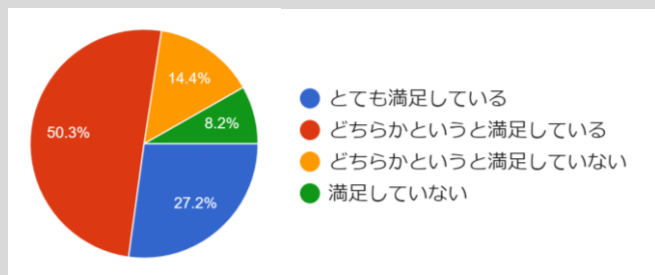
##### 今後の課題と対応方針

学校施設を利用するにあたっては、現在グラウンドと体育館の利用ということで社会体育に準じて対応が可能であるが、今後は校舎内の活用等も含め施設の管理に係る規則等の整備及び管理体制の構築が大きな課題となる。関係者との協議を継続的に実施しながら、よりよい管理体制について今後も検討を重ねていく。また、スポーツ保険については年度が替わる際に4月以降の活動に係る保険料を3月中に支払わなければならないことで、4月当初の活動が困難な状態となっている点についても、併せて検討が必要な課題である。

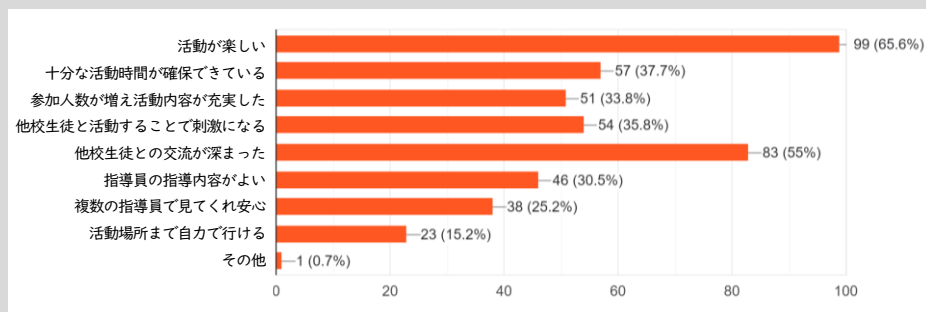
## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（アンケート結果）

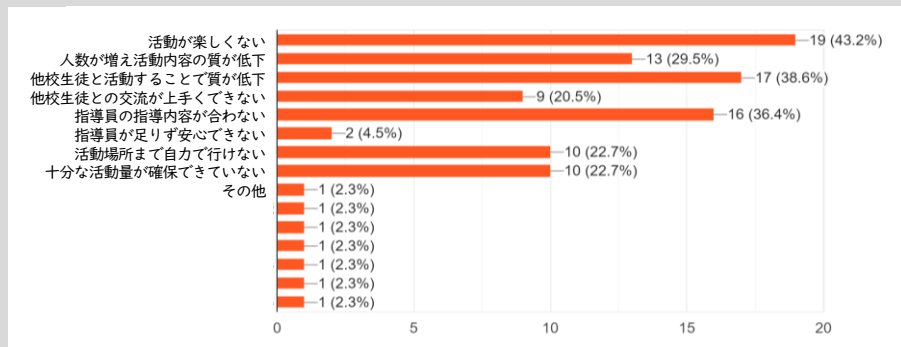
#### <地域クラブ活動の満足度>



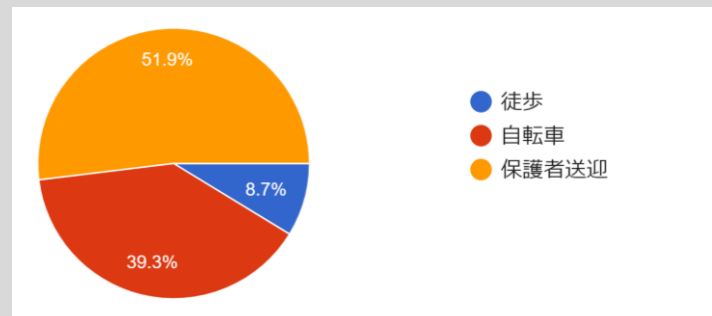
#### <満足している理由（複数回答）>



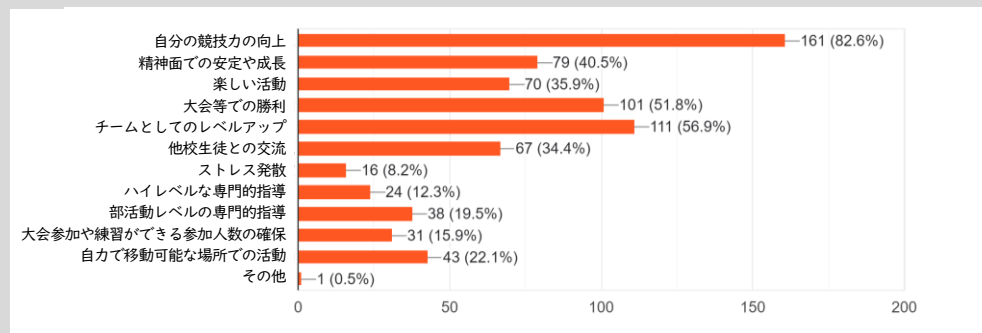
#### <満足していない理由（複数回答）>



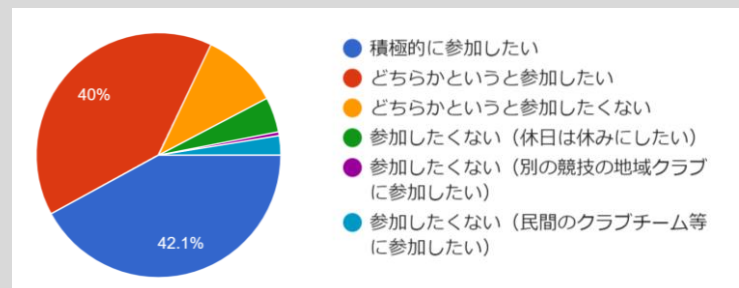
#### <参加する際の主な移動手段>



#### <地域クラブ活動に求めるもの（複数回答）>



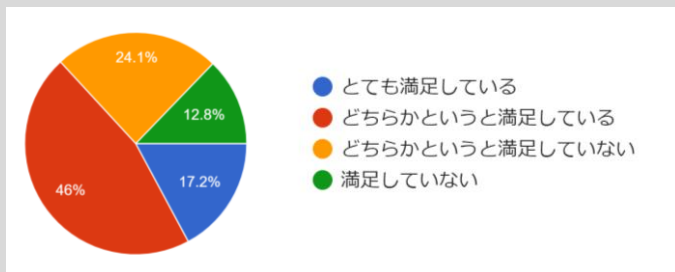
#### <次年度の参加希望>



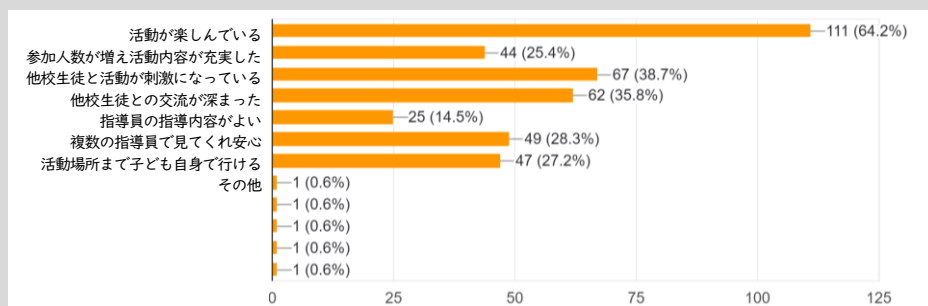
## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（アンケート結果）

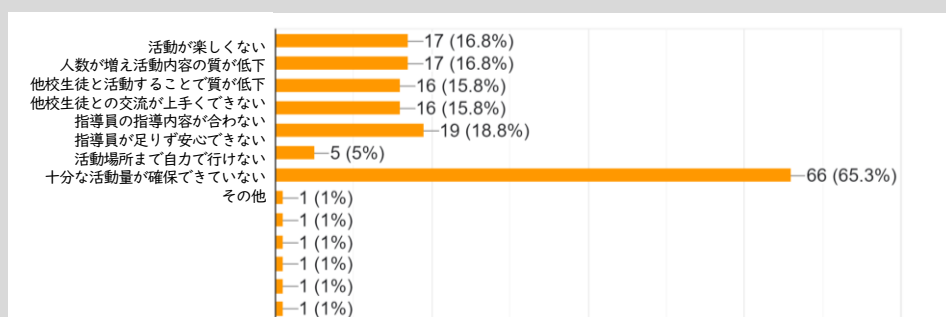
#### <地域クラブ活動の満足度>



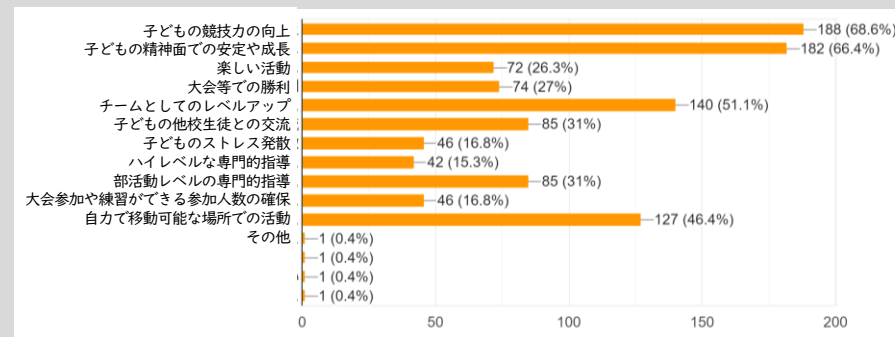
#### <満足している理由（複数回答）>



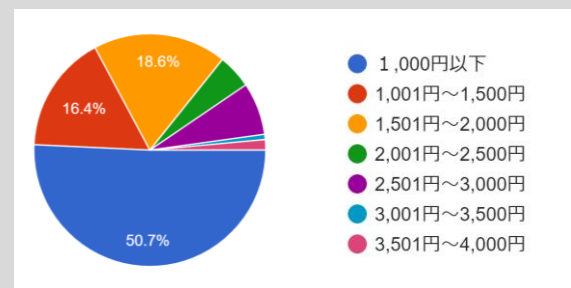
#### <満足していない理由（複数回答）>



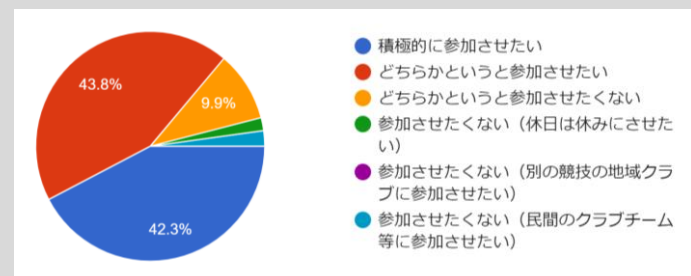
#### <地域クラブ活動に求めるもの（複数回答）>



#### <次年度の参加希望>



#### <次年度の参加希望>



# 2. 実証内容と成果

## 参考資料 (周知用リーフレット)

土浦市地域クラブ「Blue Ocean」鳥居一雄 (030-5-6408) ◆R5・4期生

学校 ↔ 土浦市地域クラブ活動推進協会 ↔ 地域

### 休日の部活動の地域移行がスタートしました!

【表】土浦市地域クラブ「Blue Ocean」活動内容表

種別	サッカー	バドミントン	バレーボール	バレーボール(女子)
部員数	100名	80名	60名	40名
活動時間	18:00-20:00	18:00-20:00	18:00-20:00	18:00-20:00
活動場所	土浦市立中学校等	土浦市立中学校等	土浦市立中学校等	土浦市立中学校等

Q&A よくあるお問い合わせ

- Q 地域クラブに入会するメリットは?
- Q 地域クラブの活動で地域移行が実現しない場合は?
- Q 地域クラブの活動はどのように進められるのか?
- Q 地域クラブの活動はどのように進められるのか?

地域・学校・行政の連携

土浦市教育委員会

### 休日の部活動の地域移行のための実証事業を行っています

Vol.2 土浦市立中学校等

背景

- 部活動部員数及び教員数の減少により、学校単位の部活動運営が困難(活動会場の減少と質の低下、合同チームの増加、活動意欲の低下)
- 専門性や意思に関わらず教員が顧問を務める指導体制の継続は困難
- 長期間における適切な活動や心の休養の必要性
- 将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保

地域移行

これまで学校の教育活動として行われてきた部活動の置きを維持し、地域クラブ活動へ移行後もその置きを継承・発展させることで、地域が一体となって子どもたちのスポーツ・文化芸術活動への参加を奨励し、その活動を支えていけるような「持続可能な」部活動及び地域クラブ活動を創っていく。

地域移行のイメージ

- 持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境を一体的に整備
- 多様な体験機会や将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保
- 子どもの自己実現及び力ある社会と絆の強い社会作り
- 休日の部活動指導による教員の負担を軽減し、質の高い教育へ転換

土浦市地域クラブ活動推進協会

土浦市教育委員会

休日の部活動の地域移行をスタートしたことを周知するためのリーフレットを作成し、Vol.1を12月に配付。さらに、地域移行実証事業のさらなる周知のため、実証事業の概要と進捗状況を中心としたVol.2を作成し、2月に配付。

Blue Ocean 活動イメージ

先行実施(実証事業)

活動日・活動場所

Blue Ocean 会費

- 年費 2,000円
- 入会費 500円
- 活動費 月2,000円

地域移行ロードマップ

休日の部活動と地域クラブ活動

土浦市地域クラブ「Blue Ocean」指導者バンク

土浦市地域クラブ活動推進協会

### 休日の地域移行ロードマップ

先行実施(実証事業)

活動日・活動場所

休日の部活動と地域クラブ活動

土浦市地域クラブ活動推進協会

リーフレットの配付は、本市が全部活動の休日地域移行を目指す令和8年度に中学生となる現小学4年生から、現在地域移行の対象となっている現中学2年生まで全員と学校関係者等に配付。

### 運営団体…土浦市地域クラブ活動推進協会

土浦市地域クラブ「Blue Ocean」拠点校情報

保護者

Q&A

地域移行全期に関するお問い合わせ

地域クラブに関するお問い合わせ

【休日の部活動地域移行周知用リーフレットVol.1】

【休日の部活動地域移行周知用リーフレットVol.2】

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（協議会等で使用した資料の抜粋等）

#### 土浦市地域クラブ活動ガイドライン



令和5年10月

土浦市教育委員会

R4スポーツ庁／文化庁のガイドラインやR4茨城県教育委員会の茨城県部活動の運営方針【改訂版】を参考に、土浦市の部活動地域移行に向けたガイドラインを作成

活動時間や休養日の確保については「土浦市部活動運営方針」に準拠するよう示しており、移行期間における部活動との連携・連動にも配慮している。

#### 土浦市部活動の地域移行に関するQ&A

#### 土浦市教育委員会

R5.10月現在の状況で作成しています。今後の事業の進捗状況や国及び県の動向により、変更される部分も生じる可能性があることをご了承ください。

※学校教育活動として行うものを「部活動」、地域に移行して行うものを「地域クラブ」として表記しています。

#### Q1：地域移行では、すべての部活動が地域に移行されるのですか。

A1：中学校・義務教育学校（以下、「中学校」）のすべての部活動が対象です。スポーツ庁・文化庁では、令和5～7年度を改革推進期間として段階的に移行し、令和7年度末には休日の部活動をすべて地域に移行することを目標としています。土浦市では、令和5年度10月からスポーツ庁の実証事業として一部の競技（軟式野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール）において先行実施します。平日部活動の地域移行については、休日部活動の進捗状況や国や茨城県から示される指針等に鑑みながら、今後、さらに検討していくことが必要となります。

#### Q2：地域クラブでは、学校の部活動以外の種目も活動することができますか。

A2：「部活動の地域移行」と「持続可能な部活動」の両観点から、土浦市では、土浦市立中学校（義務教育学校含む）にある部活動を拠点校化し、地域クラブを創設していきます。自分の通う学校にない種目でも他校であれば参加が可能になる場合があります。

#### Q3：地域移行後の活動は、異なる中学校の生徒と同じ地域クラブで活動するのですか。

A3：土浦市では、地域クラブを複数の学校の生徒で構成する拠点校方式を想定しています。そのため基本的には他校の生徒とも一緒に活動することになります。ただし、一緒に活動する学校や活動場所については種目により異なります。

#### Q4：中学校の部活動に所属していますが、地域クラブの活動はどのように選択すればよいですか。

A4：土浦市では、「部活動の地域移行」と「持続可能な部活動」の両立を図るため、中学校で所属している部活動と同じ種目の地域クラブへの参加を奨励します。希望参加であるため、異なる種目へ参加することや、休日は地域クラブに参加せずに趣味や学習の時間等を増やすことも考えられます。また、部活動には所属せず休日の地域クラブのみに参加することも考えられます。

地域移行先行実施直前段階での考え方や予想される不安点についてQ&Aを作成し、説明会等で周知。

市教育委員会HPにも掲載。

【土浦市地域クラブ活動ガイドライン及びQ&A】



#### あなたの考えや行動をチェックしてみましょう

次の20項目を読んで、あなたの考えや行動に「あてはまる」「あてはまらないか」を判断してみてください。

項目	あてはまる	あてはまらない
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

以上の20項目のなかであなたの考えや行動に「あてはまる」ものがあれば、あなたの考えや行動について一度振り返って見る必要があります。

コンプライアンス研修での参考資料として提示し、研修の中でもセルフチェックを行った。

【指導者研修資料】



## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（活動写真）



【地域クラブ活動事前保護者説明会】



任意団体設立時役員会



開所式・指導員研修会

【任意団体開所式、指導者研修会】

県担当者の視察



他県教育委員会の視察

【行政視察】



【定例ミーティング】

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料 (活動写真)



【地域クラブ活動・軟式野球】



【地域クラブ活動・サッカー】



【地域クラブ活動・バスケットボール】



【地域クラブ活動・バレーボール】

## 参考資料 (新聞記事)

2023年(令和5年)10月29日 日曜日

### 土浦市

# 部活、任意団体が指導

## 地域移行 4競技休日練習



公立中学校の部活動を地域団体や民間事業者に委ねる「地域移行」で、土浦市は28日から、市立中学校の運動部4競技を対象に休日の「地域クラブ活動」を始めた。現行の部活動を担う教員や指導員が中心となって指導に当たる。市教委によると、市単位で任意団体を設立し複数の競技を担うのは県内で初めてという。

「同じうの方が声が出ていますよ。声を出していいよ」。28日、同市中央の都和中で開かれたバレーボール女子のクラブ活動には、二つの中学校から約20人が集まった。生徒らはボールを追いかけて、レシーブやアタック、試合形式の練習に励み、コーチのアドバイスを受けながら汗を流した。

指導の中心となったのは同中の元教員で部活動指導員の佐藤謙哉さん(66)。ボールを繰り出し「楽にやるには積み重ねが必要。自分

分が考えられる選手になって」と呼びかける。

新治学園教育学校から参加した8年生(中2)の秋葉紀乃さん(14)は「自分たちが知らない練習や声出しを体験でき、刺激になると収穫を話した。

都和中OGで外部コーチの大学3年、小沼結奈さん(20)は「人数が多いので練習を回しやすく効率的」と初回の活動を評価。「最初にはうまくいなくても、とにかくバレーを好きになってほしい」と願う。

市教委によると、地域移行の運営組織として市が主導して任意団体「市地域クラブ活動推進協会」(市地域クラブ代表理事)を設立。地域クラブを「ブルーオーシャン」と名付け、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボールの4競技で休日活動を開始した。23日時点でクラブ員は中学1〜2

年生462人、指導員は83人が登録している。

市内には義務教育学校(小中一貫校)を含め市立中が8校ある。少年化クラブチームが増えた影響で団体競技を中心に単独チームの結成は難しくなっており、野球は8校で4チームを組んでいるのが現状。

このため、地域移行は特に部員数減少が顕著な4競技から始めることとした。

文部科学省の実証事業の補助を受け、本年度の実施費用は市が負担した。保護者アンケートの結果、地域移行への関心は経済的負担増よりも「平日休日の指導の運動性」だったこともあり、一貫した指導を考慮して部活動を担うことが中心となり休日指導を担う。

市は今後、3年間の試行期間を経て2026年度から、文化部を含めた全ての休日活動を地域クラブに移行する方針を打ち出している。同市教委指導員の岩田幸一(部長佐佐木)は「部活動(民間)クラブの間を埋めるような存在になれば、受益負担の軽減へ地元企業などでも連携したい。教員の働き方改革にもつながっていく」と見通しを語った。(黒崎哲夫)

2024年(令和6年)2月18日 日曜日

### 茨城新聞

# 警察官とバレー交流

## 部活地域移行 男子中学生15人



土浦市の地域スポーツクラブ「ブルーオーシャン」の男子中学生15人が10日、同市中央の都和中体育館で、土浦警察署(全治警察署長)の警官とバレーボールの交流試合に臨んだ。同クラブは部活動の地域移行に伴い休日に活動している。土浦五中、都和中の生徒15人に対し、同署は元Vリーグ選手を含む警官12人が参加。両チームは対戦した戦いで盛り上がった。

スポーツを通じて交流し、こわもての印象が薄く、警察官への緊張感を和らげようと、両者が初めて実施した。柔軟体操やアタック、レシーブの練習後、試合形式で対戦した。

中学生は相手レシーブの要領を担ったり、きわどいコースにサーブを決めたりして様子をつかっていた。初めは動きが硬かった警官も鋭いサーブやアタックで応酬。好プレーには拍手や歓声を交わしながら、真剣勝負ながら和やかなムードで汗を流した。

都和中2年の大平輝水(15)は「少し緊張したけど、楽しかった。いい練習になった」と笑顔を見せた。地域クラブ指導員の佐藤正広さん(44)は「思った以上にレベルが高く、機会があればまたお願いしたい」と話した。

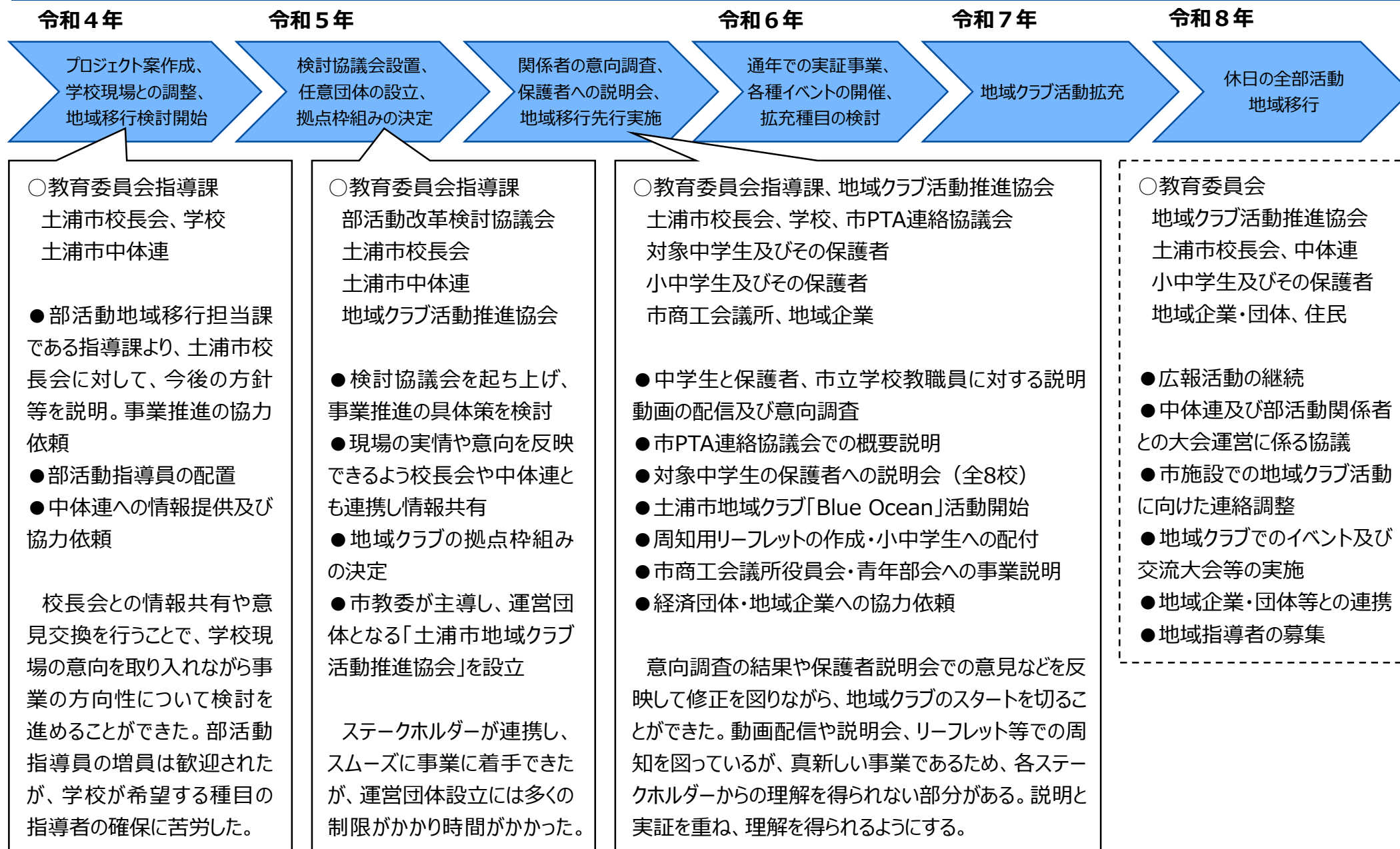
少年事件などを担当する生活安全課の野島浩彦(23)は、Vリーグの選手として3年前までつくはユナイテッド(つくは市)に所属。銀のジャンプサーブや安定したレシーブでチームを盛り立てた。「警察を身近に感じてほしい。地域と関係合えば防犯にもつながる。普段は顔を合わせない警備士との交流にもなっていた」と語った。

水沼署長は「将来警察官を目指す人にも今回の交流を心に留めてもらえれば」と期待した。

両署は今後も、バレーボールや剣道、野球などの競技を通じて中高生と交流を図っていく方針だ。(黒崎哲夫)

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

